



「ほっとルーム」だより

第202号 令和7年6月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

中学校期の保護者に向けて 応援メッセージ



子どもが急に成長し、心配なこともあるかと思います。でも、子どもは、親(保護者)と少し距離を置いて客観的に見るようになってきます。見守り、寄り添う気持ちで…

この時期は、思春期に入り、学校や友達関係等いろいろなことに悩み、葛藤する子どもにとって、家庭が精神的な安らぎの場となるよう、温かく見守り、適宜助言をすることが大切です。



- 自分のよさを実感したり自分の短所を自覚したりする。
- いろいろなことが刺激になり、情緒不安定になりやすい。
- 他者との関係の中で自他の違いを認め、自分の特性に気付く。
- 仲間意識が強くなり、特定の友達と深い人間関係を築く。
- 異性との望ましい関係を学び始める。
- 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営むことができる。
- 公共を意識して、自分の行動を抑制できる。
- 法やきまりの意義を理解し、公德心をもつ。

保護者の関わりは？

☆ 子どもの人格を認め、接するようにしましょう。

- ・思春期の心と体について理解する。
- ・性や生命について子どもと語る。

☆ 自己肯定感を育てましょう。

→ 自分のことが好き、自分は生きている価値があるという気持ち

- ・他者との比較ではなく、子どものよいところを具体的にほめる。
- ・「自分は大切な存在である」と実感できる機会をつくる。



☆ 将来の夢や自己実現に向けて働きかけましょう。

- ・失敗しても自分でさせる、また挑戦することができるよう日頃から会話を増やし、親子の絆を深める。

☆ スマホ・ネット等から、プライバシーを守ることは、生命の安全につながります。

- ・セキュリティ設定を活用し、個人情報の漏洩に気を付ける。

(※ こども家庭庁 ICT社会へ送り出す前のサポートをするために♥ 保護者がおさえておきたい4つのポイント 生徒編より)

令和6年度更新版「親子の笑顔を増やす かごしま家庭教育ナビ」より

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



一年生長子家庭訪問を実施しています。 玄関先での訪問です。

5月の後半から、支援員が二人一組になって、一年生で長子のお子さんがいらっしゃるご家庭を訪問し、玄関先でお話を聴かせていただいています。
既に訪問が終了したご家庭の保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。
これから訪問予定のご家庭もありますが、仕事等でお留守でも、お気になさらないでください。ピンクの訪問名刺をポストに入れておきますので、訪問のご希望がありましたら、ご連絡ください。

※ ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。
(お問い合わせ先 TEL: 0996-33-5654)

子育て アドバイス

子どもに寄り添うということは…

聞く

話す

見る

触れ合う

待つ

そして…

笑いかける

子どもに笑顔を見せてください。

「あなたがこの世に生まれてくれて私は本当に幸せなのだ」と伝えるのは言葉より笑顔です。

それが子どもを幸福にするのです。

多くの方は、子どもをもったことを幸福に思っています。

でも、その思いを子どもに日々伝えている日本人はあまりいないようです。

なかなか言えなくてもいいんです。

お母さんが笑顔でいてくれれば、

子どもは「お母さんはぼくといっしょにいると幸せなのだ」と理解できます。

他者の悲しみや苦しみを理解できる人になるためには、

まず誰かと十分に喜びを分かち合う経験が必要です。

それができて初めて、今度は悲しみや苦しみといった、

マイナスの感情も分かち合えるようになります。

笑顔が子どもの情緒を豊かに育てるのです。

たくさんの人に、笑いかけてもらってください。

たくさん喜ばせてもらってください。

楽しさを分かち合う経験が多ければ多いほど、

その子は幸せな子に育っていくはずです。

それでも、

お母さんの笑顔ほど、子どもを喜ばせるものはないということも、

どうぞ忘れないでください。



参照: 佐々木 正美 著「花咲く日を楽しみに」

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574

☎099-294-2200 ※携帯電話からはこちら

24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309